

『スパークス 日本株長期投資のすすめ』



スパークスの株式投資、株式市場などに対する見方を紹介するコラムです。

第64号(2010年1月22日)

「大きな二つのトレンド」

前号で紹介致しましたスパークスの創業者である阿部修平が昨年執筆いたしました「市場は間違える、だからチャンスがある」(日本経済新聞出版社)の中で、大きな二つのトレンドがこれからのグローバルマネーをひきつけるとしておりますが、その一つが成長著しいアジア地域をあげております。アジア地域に対し、日本企業は地理的、文化的に近く、ブランド力が高く評価されているという点から大きな成長を遂げる可能性が高いと思われます。

もう一つがリーマンショック後の世界的な大不況の中、低炭素社会の実現と需要創出の二つの目的を同時に達成するために、世界各国が協調して行なっているグリーン・ニューディール政策によって大きく加速し始めた、環境問題への取り組みであり、この分野において日本企業は他国を圧倒する技術力や運用ノウハウを保有しております。

既にスパークス・グループでは、持続可能な社会の構築や、「スマートグリッド」概念に代表される「脱石油社会」「低炭素社会」への移行に必要な技術・ビジネスモデルを保有すると考えられるわが国の企業のうち、中長期的に高い成長が予想されるものに対して投資を行い、投資先企業に対しては、実質的な株主として企業価値向上を支援する提案や事業機会の紹介等を行い、当該企業の成長を促す、投資戦略を開始するなど、これらの分野へいち早く取り組みを開始しております。

(注) 本コラムは、マネックス証券Web-Site「マネックスラウンジ」の「マネックスメール」に掲載されている「スパークス・アセット・マネジメントの『SPARX Way』」をもとにスパークスが作成したものであります。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。